



地域ぐるみで 伝統のお茶づくり

5月15日(火)、青空の下、錦津小学校で伝統となってお茶摘みが行われ、全校児童と祖父母、保護者、地域の方々が参加しました。

子どもたちは、祖父母の方々と一緒に「茶摘みの歌」を歌いながら、笑顔で茶摘みを行い、昨年より3kgほど多い約30kgの茶葉を収穫しました。

中には、ひ孫と一緒にお茶を摘んだ方もいらっしゃいました。「自分の長男の時から参加して、もう55年になります。子ども、孫、そしてひ孫と一緒に毎年お茶を摘むのをとて



も楽しみにしています」と笑顔で話していました。

参加した子どもは、「おじいちゃんと一緒にお茶摘みして、とても楽しかった。新芽はやわらかくて、つるつるしていて、さわると気持ちいい。おいしいお茶になるといいなと話しました。

収穫した茶葉は、製茶工場で煎茶に加工し、できあがったお茶は、普段お世話になっている地域の方々や子どもへの家庭などに配布されるそうです。



「こんにちは」 赤ちゃん

いわい はすみ
岩井 葉澄 ちゃん

5月7日生まれ

保護者 岩井哲也・菜央(白橋)

「笑顔いっぱいの優しい子に育ってね」

(父・母より)



おおしま ふうな
大島 楓菜 ちゃん

4月17日生まれ

保護者 大島隆佑(上牧野)

「元気に生まれてきてくれてありがとう」

(父・母より)

自転車免許講習で 安全な通学を



4月26日(木)、美濃加茂市前平町にある加茂自動車学校で、町内2つの中学校に通う中学1年生61名を対象に自転車免許講習会が行われました。

あらかじめ学校で筆記試験を受けた子どもたちは、少し緊張した面もちで講習会と、その後に行われた実地試験に臨みました。

実地試験では、見通しの悪い交差点での安全確認、信号のある交差点の通行、波状路の走行、狭い道の走行、スラローム走行、急制動の6つの試験を受けました。試験には参加した全員が合格し、無事に自転車運転免許証を手に入れました。

「青信号は『渡れ』ではなく、『渡ってもいい』という意味。左右だけでなく後方



もしっかり目視して、確認してから渡りましょう」という講話を聞いた子どもたち。

「いくら青信号でも、飛び出したりせずに自分の目で安全を確認してから渡るように気を付けたい」と安全について改めて認識を深めていました。

有料広告